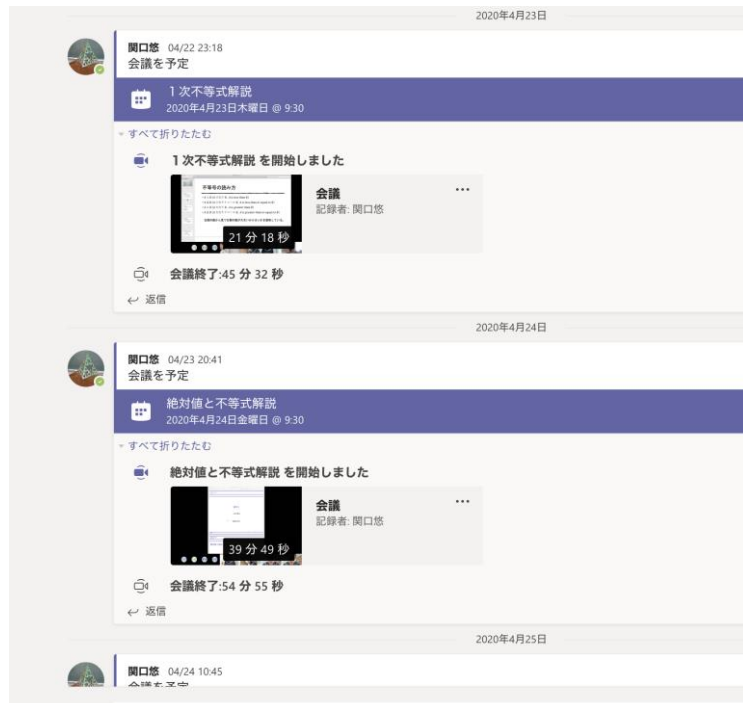


1 オンライン授業の実施 1クラス22回

2 授業ファイルの共有

3 課題の配布 (後述) テストの実施 (後述)



2020年4月23日

関口悠 04/22 23:18
会議を予定

1次不等式解説
2020年4月23日 木曜日 @ 9:30

すべて折りたたむ

1次不等式解説を開始しました
会議
記録者: 関口悠

21分18秒

会議終了:45分32秒

返信

2020年4月24日

関口悠 04/23 20:41
会議を予定

絶対値と不等式解説
2020年4月24日 金曜日 @ 9:30

すべて折りたたむ

絶対値と不等式解説を開始しました
会議
記録者: 関口悠

39分49秒

会議終了:54分55秒

返信

2020年4月25日

関口悠 04/24 10:45
会議を予定



2020年4月22日

関口悠 04/21 15:45 編集済み
間違えていた箇所を訂正した解答解説を載せました。
特に、7(3)のx-yは解説した方法もありますが、よく考えたらそのまま引き算の方が早いですね。

第1章 実数テスト 解答解説.pdf
155 > General

返信

2020年4月22日

Assignments 04/22 16:48

臨時休校中課題 (5月7日まで)
Due May 07

View assignment

2件の返信、送信者: 自分 および Assignments

返信

2020年4月23日

関口悠 04/22 23:18
会議を予定

1次不等式解説
2020年4月23日 木曜日 @ 9:30

すべて折りたたむ

1次不等式解説を開始しました
会議
記録者: 関口悠

21分18秒

会議終了:45分32秒

返信

2020年4月24日



2020年4月27日

関口悠 04/25 10:12
今日までの分の資料 (ファイル) を名前を変更して整理しておきました。ファイル一覧を確認してください。

関口悠 04/25 11:19
今日の資料の練習問題(1)の⑥の式が間違っていたので直しました。

返信

2020年4月27日

関口悠 04/27 9:30 編集済み
おはようございます。
本日のテストを配信します。
12時までには実施して、解答をチャットで送ってください。
制限時間は45分になります。必ず時間を計って実施してください。
(時間厳守です)

詳細表示

第1章 1次不等式テスト 問題.pdf
155 > General

返信

2020年4月28日

関口悠 04/27 15:52
こちらの都合により、明日のテスト解説の時間が取れそうにありません。
テスト解説は明後日29日(水)9時30分から行います。
テストに関しては本日中に返却し、解答も共有します。

返信

2020年4月28日

関口悠 04/28 19:09
遅くなりましたが、昨日のテストの解答を載せておきます。

第1章 1次不等式テスト 解答解説.pdf

返信

2020年4月29日

関口悠 04/27 15:53

1 課題の実施 計2回

2 生徒はノートを撮影して 提出

3 ルーブリックによる評価

臨時休校中課題 (5月7日まで)

期限 2020年5月7日 23:59

手順

臨時休校中 (5月7日まで) の課題となります。
予習や授業用のノートとは別のノートを新しいノートを作って、問題集の P.4 ~ P.21 (問題番号 1 ~ 90) までを解いてください。
その際、解法の過程までノートにしっかりと記載してください。
解答も付けたので、丸付けをして提出となります。
提出方法は、そのノートを1ページずつ写真に撮って提出してください。
学校に登校したときに提出する必要はありません (ノートを預かってもいつ返せるか分からないため)。
もし、写真が多すぎて上手くいかない場合は、チャットで相談してください。

問題集のコピーには P.22 以降も問題がありますが、それは自由課題とします。
つまり、P.22 ~ P.29 (問題番号 91 ~ 127) は自由課題です。5月7日までに余裕があれば解いてください。
仮に、休校が延期され中間試験が中止になった場合は、P.22 以降を課題として追加する予定です。

また、4月22日までの課題に「教科書 第2章の予習」がありますが、提出の必要はありません。
休校が延期された場合は、第2章についても授業および小テストをオンライン (Teams) で行いたいと考えています。

この課題について、評価基準 (ルーブリック) を公開します。
この評価基準に合わせて評価をします。状況によっては、この課題が中間試験の代替になる可能性があるため、そのつもりで臨んでください。

参考資料

- オリジナル解答.pdf
- オリジナル問題.pdf

点数
100 点満点

ルーブリック

臨時休校中課題 (5月7日締切)

臨時休校中課題 (5月20日まで)

期限 2020年5月20日 23:59

手順

臨時休校中 (5月20日まで) の課題となります。
問題集の P.22 ~ P.29 (問題番号 91 ~ 127) までを解いてください。
その際、解法の過程までノートにしっかりと記載してください。
解答も付けたので、丸付けをして提出となります。
提出方法は、そのノートを1ページずつ写真に撮って提出してください。
学校に登校したときに提出する必要はありません (ノートを預かってもいつ返せるか分からないため)。
提出方法について、写真のままですと、10個までしか提出できないので、写真等を PDF にまとめたものを提出してください。
なお、PDF のサイズが 100MB を超えると提出できないようなので、そういった場合は2回以上に分けて PDF を作成し、その複数個の PDF を提出してください。
参考までに iPhone で設定無しのまま写真を撮るとだいたい1枚 2~3MB になります。そのため、写真が30枚を超えると 100MB を超える可能性があると思ってください。

PDF の作成例 (iPhone の場合)
・「写真」アプリで撮った写真 (ノート) を全て選択。
・左下の共有ボタンから「ブック」を選択。
・自動的に「ブック」アプリが開くので、「新規」右の「…」から「ファイル」に保存を選択 (その際に名前を付けておくとも良いでしょう)。

Teams の課題の提出方法

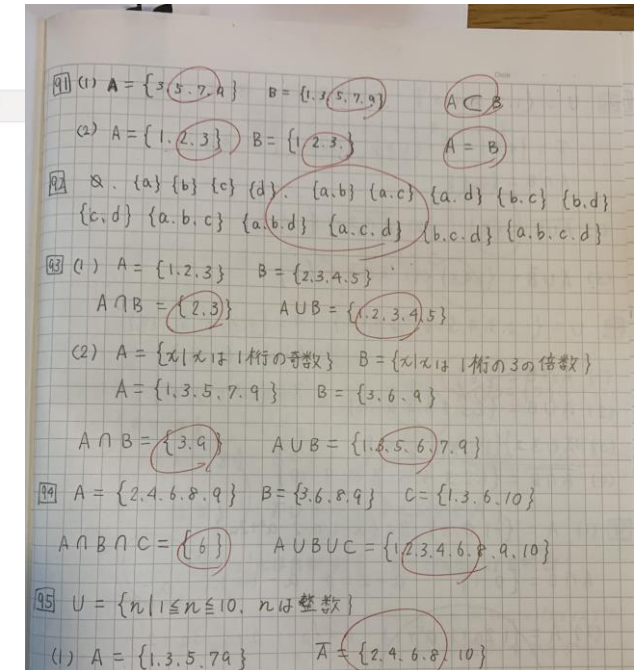
- ・「Teams」の「課題」から「1SS」を選択し、右下に「次へ」と表示されるので、次へを選択。
- ・割り当て済みに今回の課題が表示されているので、それを選択。
(自分の作業の下にある「作業の追加」から「このデバイスからアップロード」を選択。
(Android の場合、Google フォトアルバム機能を使うと良いでしょう。iPhone でも Google フォトをインストールしてあれば使えます。フォトアルバムを作ったリンクを課題の「作業の追加」から「リンク」を選択してください)
- ・「ブラウズ」を選ぶと保存したブック (PDF) があると思います。それを選択してください。
- ・最後に、右上に「課題を提出する」を選択すると提出が完了です。成功すると何か画面に動きがあると思います。

早めに提出してもらった人には、追加課題を出します。
追加課題については、特に評価をするつもりはありません。
2 章の範囲をより発展的に学ぶための課題になります。


点数
100 点満点


ルーブリック

臨時休校中課題 (5月20日締切)



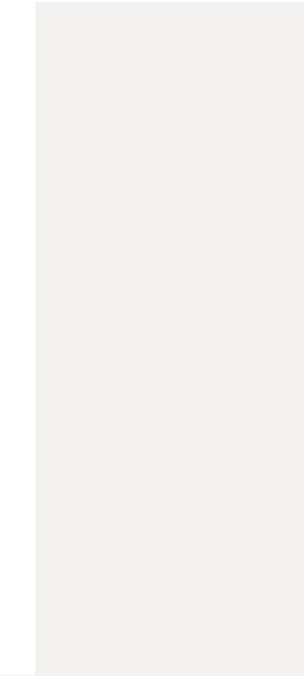
1  テストの実施
4回

2  生徒は、印刷または書き写したものを撮影して提出

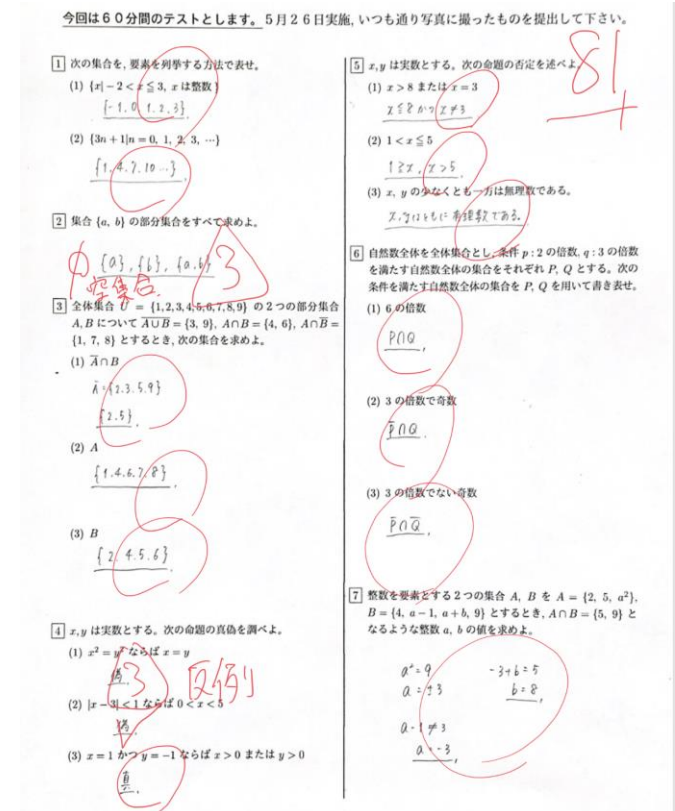
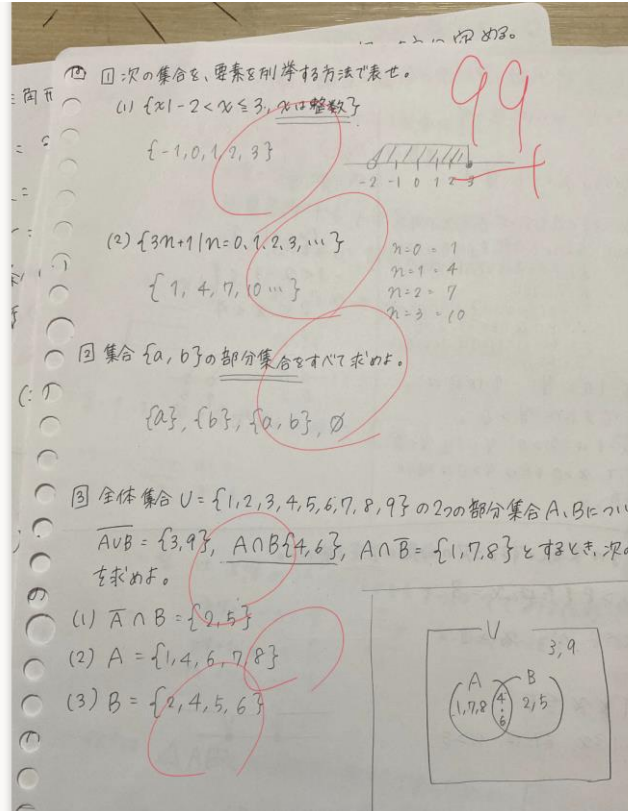
3  写真をPDF化したものを丸付けして返信




解答です。
お願いします。





05/26 12:13
預かりました。採点したら、また連絡します。

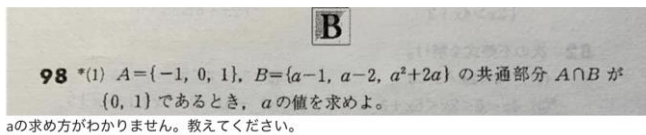


【事例】チャットで質問の受付 (Teams)

1  生徒が分からないところを撮影、質問する

2  解説用のプリントを作成して共有する

3  生徒とのコミュニケーションの活性化

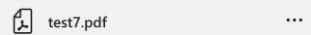


05/13 15:14 編集済み
A と B の共通部分に 0 と 1 が入っているということなので、B の中に 0 と 1 が入っているようにします。でも、-1 は入らないようにします。
まず $a-2 < a-1 < a^2+2a$ となるのは分かりますか？
だから、可能性としては $a-2=0, a-1=1$ と $a-1=0, a^2+2a=1$ がありますが、2つ目は $a-2=-1$ になってしまうので、解答になりません。したがって、1つ目の場合だけが解答になります。

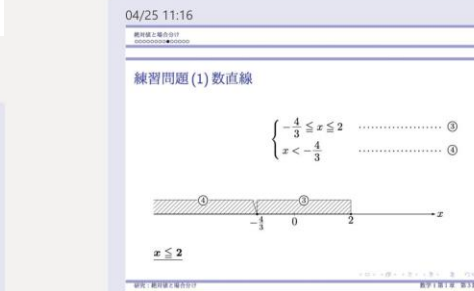
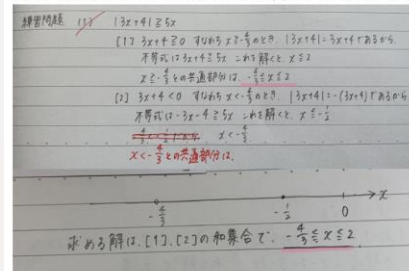
126がわかりません。
どう状況なのかもよくわかりません。

05/16 21:54
図をかくのが大変なので、解説を作りました。まずは、円上に赤い点と青い点が1つずつあったとしたらどうなるかを考えます。その後、更に点が増えていったらどうなるだろうか、と考えていきます。

証明は、本来 数学Bの範囲となっている数学的帰納法でやるのが正攻法なのですが、まだやっていないので、それに似せた方法で証明しています。



先程、解説していただいた練習問題の(1)で、どうして $-4/3$ が解に入らないのかわかりません。



①の式が間違っていたので直しました。 $-4/3 \leq x < 2$ と $x < -4/3$ の範囲を合わせると $-4/3$ を書く必要なくなるので、 $-4/3$ は消えます。

質問です。
p108
PN (a) は素数aを表しているんですか？
次に、

[2] a が b の約数であること、同じことですが b が a の倍数であることは、 $ax = b$ となる x があることですから
 $\exists x (ax = b)$
と表せます。このことを記号で $a|b$ と書きます。

と書いてあるのですが、つぎの [3] の A (すべての x [$x|a \rightarrow (x=1 \vee x=a)$]) ~ のところは、どういう意味ですか？ $x|a$ は $xx=a$ ですか？ 捉え方がわかりません。

[4] A (すべての x ∈ (存在する) y [$(x < y) \wedge$ (かつ) PN (y)]) は、すべて x に対して $(x < y)$ かつ PN (y) である y が存在するという意味ですか？ なぜ、これで、素数が無限に存在するとなるのですか？

推論規則について
規則1は、仮定 $x=y$ から急に $x < y$ となっちゃうんですか？
導入が、うまく捉えられません。(規則4の \rightarrow も同様に)
規則2、4、 \vee 、 \rightarrow が消去となっているのですがどこかどのように消去なのですか？
たくさんすみません。
記号が、携帯の都合で見づらい又は違うのではありません。

05/11 10:36
PN(a) は「a が素数である」ことを表す記号としてこの場合は使っています。
[3] を日本語 (?) に表し直すと、「a が素数であることは、全ての x に対して、 $xy=a$ となる y が存在するならば、 $(x=1$ または $x=a)$ かつ $a=1$ でない」となります。 $x|a$ は $xy=a$ となる y が存在するとした方が良いでしょう (y は自動的に $y=a$ または $y=1$ になります)。y は x と a でなければ別の文字でも構いません。
[4] については、「全ての自然数 x に対して、それより大きい自然数かつ素数となる y が存在する」という意味です。あらゆる数を用意してもそれより大きい数が必ず存在して素数になり得る、ということになります。自然数は無限にあるので、とても大きい数を用意してもそれより大きい数が必ずありますよね。

- 授業をやってみて良かったですか。
良かった(100%)
- 授業を実施することで、内容の理解度が深まりましたか。
深まった(85%) あまり変わらない(15%)
- 感想(抜粋)
 - 教室で授業した方が内容が入って来やすい気がします(家感?が強く変な感じがするので)。でも、オンラインで授業がある方が一人で予習とかずっとしているより全然いいです。問題を解いていても先生が言っていたことを思い出して結び付けられるし、理解度が深まります。
 - 最初は心配だったのですが(機械音痴なので、、)休校期間中に授業を行えていることで、自分自身の理解度を確認できています。個人的には、続けて欲しいです。できれば他の教科も実施してくれると嬉しいです。
 - 家で授業ができてとても良いです。もう少し時間が短いと、さらに集中できると思います。
 - 特にないです。休校中でも勉強が進んで助かっています。